



学校だより
第18号

棕の木

令和2年12月24日(木)
久留米市立御井小学校
校長 江島 陽子

2 学期もご協力ありがとうございました。

2 学期も、子どもたちを見守り、本校教育活動にご支援いただいた保護者の皆さま・地域の皆さま、ありがとうございました。終業式にあたり、子どもたちに話したことをお伝えします。

今年は、2学期が早くはじまったので、いつもより長い2学期でしたが、今日で終わりです。8月の暑かった日も、最近では雪が舞う寒い日も、よくがんばって学校に来ましたね。

勉強が難しくて大変だった時もあったことでしょう。友だちとけんかしてつらかった時も、あったことでしょう。楽しいことやうれしいこともあったでしょうが、いやなことやきついこともありましたね。実は、私も、そうでしたよ。みなさんの前にいてくださる担任の先生も、となりにいる友だちも、きっとそうかもしれないなど、思います。

大変なことやきついことをがまんして、やっと何かができるようになったら、あきらめなくてよかったなと思いますね。いやなことやつらいことをのりこえて、思いが通じると、ぱっと心が明るくなりますね。生きていくって、そんな喜びを求めてがんばっていくことだなと思います。

もう1つ付け加えると、大きな失敗や困ったことがあって、どうしようかと一生懸命考えたり、何とかしようとするおしをしたりしたとき、その時は大変だったんだけど、今思えば、自分にとって大切な成長のきっかけだったなとも思えるものです。

だから、私は、この2学期に、みなさんがくじけずに何かをのりこえて、ちょっとでも自分で「よしっ」と喜びを味わえていたらいいなと思っています。助け合った誰かと、にっこり笑い合える瞬間があったのならいいなとも思っています。

みなさん、2学期の始業式でお話した3つの力のことを覚えていますか？

今日は、この後、担任の先生から「のびゆくこども」をもらうと思いますが、私は一足先に全校のみなさんの「のびゆくこども」を見せてもらいました。

ある人は、「かけ算の九九を覚えようと、休み時間にも友だちと何度も何度も練習していました。そして、見事、かけ算名人になりました。」と書かれていました。これは、どんな力のことを言っていると思いますか？「努力」をした姿ですね。九九を覚えるとき、はじめは簡単に思えるんだけど、7の段や8の段は難しいですね。くじけず練習し続けた努力を立派だなあとと思います。他にも、「苦手な跳び箱に、くじけずに挑戦し続けました。友だちのアドバイスを受けて繰り返し練習し、6段を跳べるようになりました。」と書かれていた人もいました。これも「努力」の姿ですね。

また、ある人は、「自分の掃除区域が終わって教室にもどると、すぐに机を運んで手伝うことができました。」と書かれていました。これは、どんな力のことですか。「協力」ですね。大変なとき、困っているときに手伝ってもらったら、今度は自分がその人を助けたいと思いますね。そうやって力を合わせるが多くなると、一人ではできないこともみんながいるから、とチャレンジできて楽しくなります。これこそ「協力」の値打ちですね。

そして、運動会で、持久走で、縄跳びで、自分がかんばることはもちろん、友だちと声を掛け合っ、きついときにも歯を食いしばって、「全力」をだした瞬間があったことを褒めてもらっている人がたくさんいました。

みなさんたち一人一人が、こうやってがんばれたことを、担任の先生方は、ちゃんと見てくださっていましたよ。また、なかなかうまくいかなかったことも、3学期こそしっかりね、と励ましてくださっています。

どうぞ、みなさん、うれしいときや楽しいときはもちろん、きついとき、悩むときにも、そんなあなたを見守り、力になろうと思ってくださっている人がいることを忘れないでください。そして、簡単にはあきらめない、自分の可能性を信じてがんばる人になってほしいと思います。

今年、最後のお話ですから、来年のみなさんにおけるの願いを込めてお話ししました。

冬休みは、コロナウイルス感染防止の生活をして、3学期の始業式には、またみんながそろって始められるよう、元気に過ごしてください。

11月終わりには、「これからの御井小学校を考えるためのご意見」をお願いしたところ、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。集約した結果については、3学期のはじめにはご報告させていただきます。

子どもたちへの願い、学校へのご意見・ご要望について、保護者の皆さまと職員とで共有し、できることから早速、取り組みを始めます。今後共、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

コロナウイルス感染拡大が心配な冬休みですが、どうぞ皆さまお元気で、よいお年をお迎えください。

